

# 行政の窓

## 道産CLTの利用拡大に向けた取組について

CLTは、これまで木造ではできなかった中高層建築での木材利用を可能とするなど、木材の需要を一層拡大することが期待される建築材料です。

国では、「日本再興戦略」などで、林業の成長産業化に向けて、新たな木材需要を創出するためCLTの普及を進めることとしており、平成28年にはCLTの建築関係基準を告示するとともに、内閣官房副長官を議長とした、「CLT活用促進に関する関係省庁連絡会議」を設置し、関係省庁が横断的にCLTの活用促進に向けた取組を進めています。

道では、平成29年3月に策定した「道産CLT利用拡大に向けた推進方針」に基づき、10年後のCLT生産量50千m<sup>3</sup>を目指して、需要の創出・拡大と供給体制の整備に向けた取組を計画的に進めることとしています。

このような中、今年2月には、北見市の協同組合オホーツクウッドピアが、道内初のCLT生産工場としてJAS認定を受け、道産CLTの生産を始めるとともに、知内町では、オホーツクウッドピアで製造されるCLTを使った3階建ての地域産業担い手センターの建設が始まるなど、道産CLTの利用拡大に向けた動きが進んでいます。

| CLTの利用拡大に向けた目標及び指標 ～中長期的に需要と供給の取組を総合的に推進～   |  |                      |     |     |     |                    |                     |     |     |     |     |
|---|--|----------------------|-----|-----|-----|--------------------|---------------------|-----|-----|-----|-----|
| 10年後の目標（めざす姿）   |  |                      |     |     |     |                    |                     |     |     |     |     |
| 需要の創出・拡大  | CLT建築を担う技術者の育成など、道産CLTの利用を拡大するための環境整備を進め、公共建築物から民間施設へ利用を拡大させるとともに、強度の高い道産CLTの優位性を活かして、道外への移出の拡大をめざす。 |                      |     |     |     |                    |                     |     |     |     |     |
| 供給体制の整備   | CLT専用の生産施設など、需要に応じた生産加工施設の整備を進めるとともに、コストの低減や安定供給体制の構築などを進め、競争力のあるCLTの生産をめざす。                         |                      |     |     |     |                    |                     |     |     |     |     |
| CLTの利用拡大に向けた取組 ～産学官が連携して取り組む10年間の取組～  |  |                      |     |     |     |                    |                     |     |     |     |     |
| 需要創出期（平成28年～平成32年）  |  |                      |     |     |     | 需要拡大期（平成33年～平成37年） |                     |     |     |     |     |
| 需要の創出・拡大  | 【取組の方向性】これまで木材が使われてこなかった、非住宅分野（ホテル・店舗・学校・病院など）や、4階建て以上の住宅分野（共同住宅・マンションなど）での利用拡大を重点的に進める。             |                      |     |     |     |                    |                     |     |     |     |     |
|   | 項目   | H28                  | H29 | H30 | H31 | H32                | H33                 | H34 | H35 | H36 | H37 |
|   | 建築物での利用促進  | 公共建築物での利用促進や技術者の育成など |     |     |     |                    | 民間施設での利用促進や技術者の育成など |     |     |     |     |
|   | 基準整備・技術開発など  | 基準整備に関する試験研究など       |     |     |     |                    | 建築技術の開発など           |     |     |     |     |
| 供給体制の整備   | 【取組の方向性】需要動向を見据えて生産体制の整備を計画的に進めるとともに、生産効率の向上や原料ミナノの安定供給などを重点的に進める。                                   |                      |     |     |     |                    |                     |     |     |     |     |
|   | 項目   | H28                  | H29 | H30 | H31 | H32                | H33                 | H34 | H35 | H36 | H37 |
|   | 生産加工施設の整備  | 既存の施設を活用した生産体制の整備など  |     |     |     |                    | CLT専用の生産・加工施設の整備など  |     |     |     |     |
|   | 安定供給と生産コストの低減  | 生産性の向上や安定供給など        |     |     |     |                    | 流通体制の検討・整備や生産性の向上など |     |     |     |     |
| <b>「道産CLT利用拡大に向けた推進方針」（概要版）</b><br>URL: <a href="http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sr/rrm/clt/index.htm">http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sr/rrm/clt/index.htm</a> |  |                      |     |     |     |                    |                     |     |     |     |     |

目標の指標

道産CLTの生産量・平成38年度 8650千m<sup>3</sup>



知内町地域産業担い手センター  
完成イメージ

### 【平成29年度の道の取組】

道では、今年度、公共施設等でCLTの建築事例を積み重ねながら、設計・施工技術の蓄積を図るとともに、設計や構造計算方法などに関する研修会を開催し、CLT建築を設計・施工できる技術者の育成を図るほか、多くの道民がCLTを見たり触れたりできる展示物の設置や、道産CLTの可能性を幅広く周知するセミナーの開催など、需要の創出に向けた取組を進めています。

また、CLTの製造コストの低減に向けた試験研究を進め、道産CLTの生産体制の構築を促進するなど、供給体制の整備に向けた取組も行っています。

（水産林務部林務局林業木材課利用推進グループ）